

授業科目	内科学2	2 学年・ 後期・1 単位 (30 時間)	
		理学 作業	必修 必修

科目担当責任者	齋藤重幸 (保健医療学研究棟 E203 号) e-mail : ssaitoh@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	わが国における内部障害系疾患は増加し、身体障害の基礎疾患に占める割合は内科系疾患の割合は骨・関節・中枢神経疾患を大きく上回る。なかでも呼吸器疾患、糖尿病、心疾患が原因となる理学・作業療法の対象者数は多い。また対象の多くは障害原因とはならなくても多くの内科疾病を合併していることは通常である。当然であるが、対象者の合併症の理解なしにはリハビリテーションは成立しない。本講座では、前期内科学1 ではふれなかった内科疾患について理解し、諸君の今後のリハビリテーション学の履修の糧とすることを目的とする。また、講義では疾病病態の背景となる、栄養・代謝・運動の整理、病態を講義して、疾病の治療・管理に合理的な判断が下せるよう配慮し、治療論では薬理、薬物動態の理解を深めるよう配慮する。なお、神経内科学は別途1 単位の講義が用意されている。		
到達目標	代謝疾患、内分泌疾患、血液造血器、感染症、神経・筋疾患について病因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習し、内部障害との関連を整理する。このことにより、疾患の理解と対象者、患者、他種医療職との疾病についての正確なコミュニケーションが可能となるようにする。		
関連科目	内科学は生理学、病理学の基盤の上に履修するものであるため、講義前に、十分な復習を行うこと。「内科学2」では「内科学1」に継続して講義が行われる。多くの全身性内科疾患を扱うが、臨床医療に携わる者に必須な知識を教授する。「内科学1」および「内部障害理学療法学」と関連する。		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	50%	受講態度(質疑応答等)を重視する。
	履修態度	50%	
教科書	①前田 真治編 [2020 年] 「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野：内科学(第4版)」 医学書院		
参考書	①講義中に適宜紹介する		
履修上の留意点	教科書を予習すること。これまでに履修した、解剖学、生理学、生化学、病理学の知識を整理することが肝要。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	代謝疾患①：糖尿病の原因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	講義	齋藤
2	代謝疾患②：脂質異常症、尿酸代謝異常症の病態、診断、治療、予後を系統的に学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
3	代謝疾患③：肥満症、メタボリックシンドロームの病態、診断、治療、予後を系統的に学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
4	内分泌疾患①：内分泌学総論	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
5	内分泌疾患②：下垂体・甲状腺・副甲状腺の主な疾患の病態、診断、治療、予後を系統的に学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
6	内分泌疾患③：副腎・性腺の主な疾患についての病態、診断、治療、予後を系統的に学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
7	血液疾患①：血液学総論、各種貧血の病態、診断、治療、予後を系統的に学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃

8	血液疾患②：各種白血病の病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
9	血液疾患③：止血線溶系異常による疾病を理解する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
10	感染症①：細菌感染症の病態、診断、治療、予後を学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
11	感染症②ウイルス感染症の病態、診断、治療、予後を学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
12	感染症③：真菌、原虫、寄生虫などの感染症の病態、診断、治療、予後を学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
13	その他の内科疾患：各種中毒性疾患、アミロイドーシス、サルコイドーシス等 内科学のまとめ	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
14	内科学演習①：心電図の読み方を理解する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃
15	内科学演習②：呼吸機能検査の読み方を理解する	事前：教科書該当部位の予習 事後：事業資料の復習	〃	〃